

長野県坂城町議会

さかき

2026

No. 179

令和8年1月31日

議会だより

新春
若水

「気持ち新たに」書初

(席書大会 文化センター体育館)

12月定例会

- ここが聞きたい!一般質問9名4ページ
- 委員会報告.....9ページ

安定した学校給食の提供 給食の安定～米飯価格への対応へ～

令和7年第4回定例会は、12月1日から12月までの12日間の会期で開催しました。条例の一部改正、補正予算などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。

一般質問では、9人の議員が登壇し町政をただしました。

条例改正

◆坂城町下水道条例の一部改正

災害その他非常の場合において、円滑な復旧工事の実施を図るため、町長が他の市町村長が指定した事業者にも排水設備工事等を行わせる必要があると認めるときは、その実施を可能とするもの。

◆坂城町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の一部改正により、内閣府令で定める基準に基づき、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めるもの。

【内容】

条例の趣旨、乳児等通園支援事業者の一般原則、事業の区分、設備の基準、職員の配置基準など。

一般会計補正予算 (第5号)

問 防犯灯工事の内容及び基数と設置箇所は。

答 故障による交換や周辺工事の移設撤去、また新設改修工事であり、6区6箇所である。

問 農道等基盤整備町単事業町単工事の内容は。

答 小網沢沈砂地のしゅんせつ工事で約170㎡の土砂の撤去を行う。

問 河川改良水路しゅんせつ工事の場所と距離は。

答 四ツ屋産業道路の旭橋下流で、第2美里園様の方角に向かう約35～40m部分を予定している。

問 食育・学校給食センター賄材料費の内容は。

令和7年度一般会計補正予算(主なもの)

◆第4号補正額(専決)	1,199万円
歳入	
○基金繰入金	1,199万円
歳出	
○確定申告に伴う法人町民税等の税償還金・還付加算金	150万円
○県・町の制度資金の借入れに対する保証料補給金(中小企業支援)	700万円
○全国大会県選抜出場激励金(小学生/ドッジボール)	3万円
○食育・学校給食センター フードスライサー購入費	346万円
◆第5号補正額	7,183万円
歳入	
○国庫支出金	1,278万円
○県支出金	643万円
○繰入金	5,136万円
歳出	
○複合施設建設事業に係る実施設計委託料	264万円
○後期高齢者医療 療養給付費負担金	1,632万円
○障がい者の介護・訓練等給付費	2,500万円
○小網沢沈砂池 しゅんせつ工事	200万円
○防火水槽修繕及び撤去費	342万円
◆第6号補正額	3,668万円
歳入	
○基金繰入金	3,668万円
歳出	
○県の給与改定に準じて行う、議員及び特別職の期末手当並びに一般職及び会計年度任用職員の給与及び手当改定等に伴う人件費等	3,666万円
○県消防防災ヘリコプター運航協議会負担金	2万円

答 学校給食の米飯について、新米価格の上昇により同価格の提供が厳しく、1月から小学校で約12円、中学校で約18円の値上げとなり増額する。



学校給食の一例

第4回定例会(12月)の審議結果

1 全会一致で可決された議案

(1) 専決

- ① 令和7年度補正予算
・一般会計(第4号)

(2) 条例等

- ① 上田地域広域連合規約の変更
② 坂城町下水道条例の一部改正
③ 坂城町公の施設の指定管理者の指定
④ 坂城町の議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正

- ⑤ 坂城町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
⑥ 坂城町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

(3) 令和7年度補正予算

- ① 一般会計(第5号)
② 介護保険特別会計(第2号)
③ 一般会計(第6号)
④ 介護保険特別会計(第3号)

2 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議員氏名)		結果	大日向進也	塚田舞	水出康成	宮入健誠	中村忠靖	星哲夫	玉川清史	山城峻一	柰津明子	朝倉国勝	滝沢幸映	大森茂彦	中嶋登
(議案名)															
条 例 改 正	坂城町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議長職
意 見 書	医療・介護分野の処遇改善と報酬引き上げを求める意見書	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
意 見 書	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に反対する意見書	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	

3 全会一致で否決された議案……なし

4 陳情審査結果

	件 名	提 出 者	付託常任委員会及び 委員会審査結果	本会議における 議決結果
陳 情	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子 長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢 裕夫 佐野 達夫 細尾 俊彦 小林 吟子 松丸 道男 北沢 忠	社会文教 採 択	採 択

議会を傍聴しませんか

次の定例会は、3月初旬開会の予定です。

事前の申し込みは不要です。

当日議場(役場4階)へお越しください。

会議録は町のホームページまたは

右のQRコードからご覧になれます。



坂城町議会

検索



脱炭素に取り組み
照明LED化へ(議場)

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

インター線

一部供用開始後の状況は

利便性向上と渋滞緩和

問 利用状況と利便性は、町長 国道18号からテクノさかき工業団地までの約400m延伸区間は、令和6年3月に供用が開始された。

延伸部分の開通により、町道A09号線と接続し、工業団地への通勤車両や物流トラックに加え、町と上田方面を結ぶ道路として利便性もよ



みやもり けんじ 議員
宮入 健誠

問 インター線先線の事業状況と今後の計画は、町長 千曲建設事務所が事業主体となり、工業団地から更に西へ延伸、全長約900mのうち、約450mが千曲川に架かる橋梁部分となり、道路幅員は両側に歩道を備える全幅14mで計画されている。事業計画では、河川

く、多くの方が利用している。

また、工業団地と坂城インターチェンジ間のアクセス向上、国道18号を通行する車両分散による渋滞緩和、物流や交通機能の向上が図られた。

管理者(千曲川河川事務所)との構造協議、国道との交差点協議、橋梁及び道路の詳細設計などを実施予定。

延伸整備により上信越自動車道や国道18号、バイパスといった緊急輸送道路や重要物流道路をつなぐ大変重要な役割を担う路線となる。関係機関と連携し、早期供用開始にむけた活動に取り組んでいく。



“インター線” 更なる西へ

質問項目

みや いり たけ し 議員 4 ページ
宮 入 健 誠

- ① 空き家対策について
- ② 主要地方道坂城インター線について

おお もり しげ ひこ 議員 5 ページ
大 森 茂 彦

- ① 町の温暖化防止計画は
- ② 子ども・子育て事業
- ③ 国保の子どもの均等割をゼロに
- ④ 町の農業政策について

なか むら ただ やす 議員 5 ページ
中 村 忠 靖

- ① 子育て支援の充実について
- ② 産前・産後の支援について

ほし てつ お 議員 6 ページ
星 哲 夫

- ① ドローンの防災活用について
- ② エレベーターの設置について

みず いで こう せい 議員 6 ページ
水 出 康 成

- ① 農業振興について
- ② 鳥獣被害対策について

お びなた しん や 議員 7 ページ
大 日 向 進 也

- ① 令和8年度の町の展望について
- ② 安全、安心な町について

つか だ まい 議員 7 ページ
塚 田 舞

- ① こども誰でも通園制度について

ね っ あき こ 議員 8 ページ
柰 津 明 子

- ① 公共施設更新と財政運営について
- ② 生涯を通じた口腔健康づくりにについて
- ③ 町民とつながるデジタル発信について

たま がわ きよ ふみ 議員 8 ページ
玉 川 清 史

- ① 水田の維持管理と今後の対応について
- ② 隣保館について
- ③ 町内の遺跡の出土品について
- ④ 必要な支援を必要な人に

温暖化対策

区域施策編の策定を

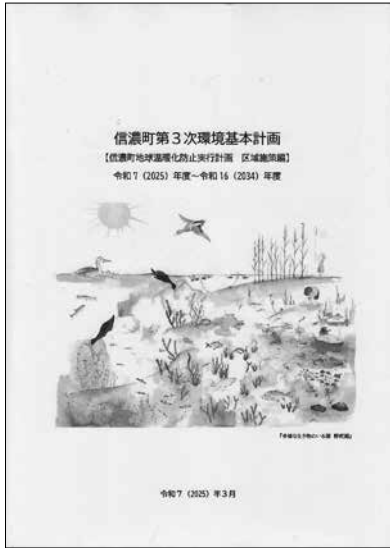
引き続き検討していく



おおもり 大森 議員

問 町長の提案で長野地域連携中枢都市圏9市町村が「2050年ゼロカーボン宣言」を発出した。事業所としての町役場の取り組みは。

総務課長 令和4年度に「坂城町役場地球温暖化対策実行計画」を策定。令和12年度を最終年度としてCO₂排出量を令和4年度対比37・7%の削減を目標としている。策定後は太陽光発電設備や電気自動車の導入、節電、リサイクル推進等で令和6年度は4年度対比CO₂排出量が29%削減



「信濃町地球温暖化防止実行計画 区域施策編」の表紙(HPより)

された。

問 町の地域全体の対策はあるか。「宣言」発出後の町全体のエネルギー創出とCO₂削減がどこまで来ているのか判らない。区域施策編の策定が必要ではないか。

住民環境課長 第6次長期総合計画を確実に実行し、地球温暖化対策を進めていく。区域施策編の策定は研究していく。

問 区域施策編を策定していない自治体はどこか。

住民環境課長 環境省の令和6年度資料では、信濃町、小川村と坂城町。

問 信濃町は令和7年度第3次計画が策定済である。無いのは2自治体だけ。言い出しつぺの町が策定しない理由は何か。

町長 策定しないとは誰も言っていない。検討していく。

町大手企業では、工夫して省エネ、ゼロカーボンの努力をしている。全体の取組として進めるための指標は必要である。



なかむら ただやす 議員

効果ある事業の構築を

切れ目ない支援提供

子育て支援

問 児童福祉法改正を受け、「こども家庭センター」の設置の考えは。

町長 母子保健機能と児童福祉機能のさらなる一体的な運営を図っていく。また、妊産婦及び乳幼児の健康保持、増進に関する包括的支援や、子ども・子育て家庭の福祉に

関する支援を、より切れ目なく提供するため、こども家庭庁と県が主催する研修会へ参加、設置要件の確認、人員配置など「こども家庭センター」の設置に向け、検討を進めている。

産前・産後の支援について

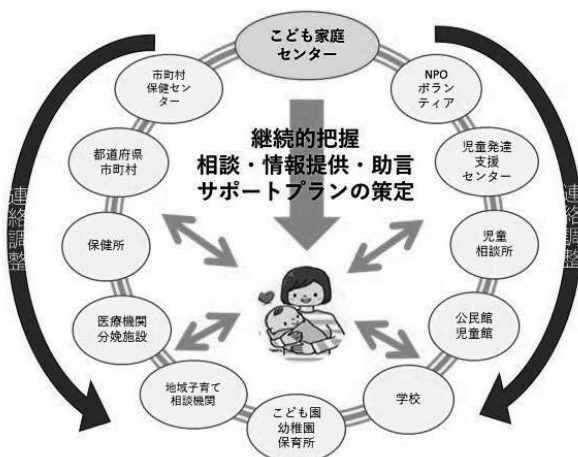
問 妊婦に対する町の支援は。

保健センター所長 全ての妊婦の方が安心して出産・子育てができるよ

う、不安解消の面談を行う伴走型の相談支援や、医療機関による健康診査、歯周疾患検診を自己負担無料として実施している。

問 産後の孤立防止や産後うつ予防の取り組みは。

保健センター所長 産後2週間と一か月頃の産婦の方に、医療機関健康診査を自己負担無料で実施。産後うつのリスク確認と支援、また乳児家庭全戸訪問事業を実施し、孤立防止に努めている。



こども家庭センターガイドラインより

テクノさかき駅

エレベーター設置を

引き続き検討していく



議員 星 哲夫

声を受けている。新たな
バリアフリー対策も含
め、しなの鉄道とともに
検討していきたい。

ドローンの防災活用

毎年、全国各地で災
害が発生し、自治体では
ドローンを使った現場

確認が行われている。ド
ローンは避難誘導、人命
捜索、水害監視、火災確
認、道路・橋梁のインフ
ラ点検など、あらゆる場
面で活用できる。災害時
に即応性を高めるため、
民間業者と連携した「官
民一体型の運用体制」を
構築する考えは。
住民環境課長 ドローン
技術の発達は、防災力向
上といった観点からも重
要な要素である。千曲坂
城消防組合と連携し迅速
な運用を含めた災害対応
と、民間事業者との連携
も研究していく。



3月14日 Suica 運用開始予定

問 当町は、多くの製造
業、先端技術産業の企業
が集積している。
来年、障がい者雇用が
2・7%への引き上げに
なり、テクノさかき駅利
用者も増えると考ええる。
公共交通のバリアフリー
格差は町民だけでなく、
障がい者雇用にもつなが
る。
また、企業イメージや
地域ブランドにも関わる
問題である。テクノさか
き駅にエレベーター設置
はできないか。
町長 地域の方のエレ
ベーター設置を希望する

農業振興

移住就農相談会について

移住・就農の活用の場に



議員 水出 康成

問 10月9日農産物マル
シェ&移住就農相談会が
名古屋で開催された。イ
ベントで得られた実績を
踏まえ、今後の展開は。
商工農林課長 当日は、
非常に多くのお客様にお
越しいただき、坂城産農
産物などに関心や興味を
持っていただいた。

今後もこうしたイベン
トを中京圏や首都圏など
において開催し、坂城産
農産物のPR及び消費拡
大を図っていくとともに
、町への移住や就農に
つなげていく場としても
活用していく。
問 新規就農者の更なる
増加に向けた考えは。
商工農林課長 就農相談
会への参加に加え、県農
業大学校への働きかけや
情報交換などの取り組み
を進め、新規就農者の確
保に努めたい。

問 来年度以降の熊被害
対策は。
町長 国の熊被害対策
パッケージ内容を踏ま
え、緊急銃弾に備えて県
や警察、町猟友会と協力
体制の強化を図るととも
に、補助金などを活用し
て資材整備を推進してい
く。
問 千曲川における鳥害
の今後の取り組みは。
町長 更埴漁協への支援
を継続するとともに、千
曲川の恵みを取り戻す会
や専門的機関の助言を聞
き、活動を研究していく。



農産物マルシェの様子

鳥獣被害対策について

令和8年度の展望は

長期総合計画事業を基軸

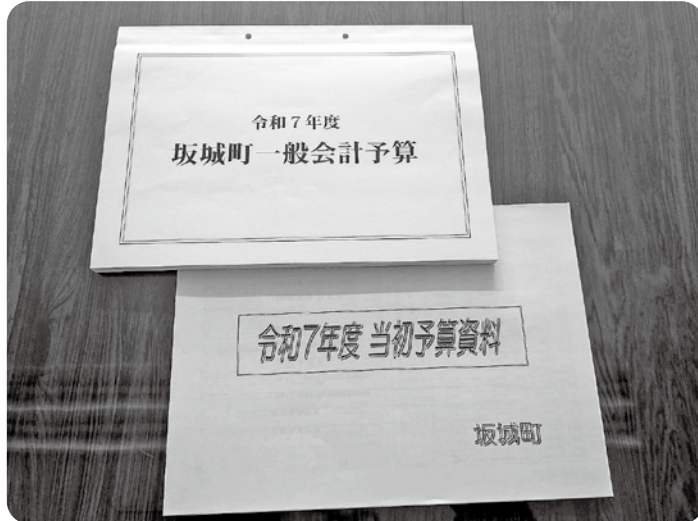
予算編成



おびな しんや 議員
大日向 進也

問 8年度の予算編成は。

町長 第6次長期総合計画に沿った事業の取組みを基軸とし、住民一人ひとりの「ウェルビーイング」の実現に向け、「SDGsの達成」と「デジタル変革への取組み」を意識した事業の実施を行う。



また、公共施設個別計画や実施計画に位置づけられた事業は、限られた財源の中でより効率的・効果的な事業の実施を図り、経費節減や特定財源の確保に努めていく。

問 地方交付税の交付見込額は。

総務課長 地方交付税は地方公共団体の財源の不均衡を是正、全ての住

民に一定の行政サービスを提供できるよう財源を保証。国税として徴収された税の一部を、一定の基準によって再配分されるものである。

8年度の見込額は、国が示す算定費目や係数等の変化を勘案するとともに、町の税収等の動向を注視し予算編成の中で算出していく。



つかだ まい 議員
塚田 舞

問 制度の概要と町の現状は。

町長 こども誰でも通園制度は、令和5年施行の「こども基本法」を背景に、保育園の利用有無に関わらず全ての子どもの育ちを社会全体で支えるために創設され、令和8年4月から全国で実施するとされた。

この制度では、家庭とは異なる経験を通じて興味や関心が広がり成長が期待されるとともに、保護者の孤立感や不安感の解消と、育児負担感の軽減につながると考えられる。

町の子育てニーズ調査では、約4割の利用希望があり、対象年齢と重複する3歳未満児の町内保育園利用は増加傾向にある。

子育て支援

こども誰でも通園制度

8年4月実施へ

町としてもニーズに対する受け皿を適切に確保していく。

問 実施に向けた検討状況は。

子ども支援室長 利用を適切に実施できる施設としては、町内保育園も実施施設の候補として想定される。

また、国では円滑な利用や運用の効率化を図る「こども誰でも通園制度総合支援システム」が運用されている。利用予約や実施施設が子どもの情報を把握する等のシステムであり、来年度の導入に向け検討している。

利用者向けリーフレット

こども誰でも通園制度

こども誰でも通園制度とは？

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成長環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルに合わせた形で支援を強化するための創設された新たな通園制度です。

対象者

- ・保育所等に通っていない
- 0歳6ヶ月～満3歳未満が対象

利用方法

- ・月10時間の枠内で
- 時間単位で柔軟に利用可能

※利用時間は、市町村により異なる場合があります。詳細についてはお住まいの市区町村にお問い合わせください。

口腔ケア

今後の取り組みは

歯科での検査も促す



議員 明子 麻生

問 過去5年間の歯周疾患検診の受診率の推移は。

保健センター所長 令和2年度は14・1%、3年度15・9%、4年度13・7%、5年度14・8%、6年度11・5%とほぼ横ばいである。

問 歯や口腔の健康状態が原因で発症・悪化する主な疾患や体調不良は。

保健センター所長 歯周病は歯や歯茎の炎症だけでなく、疲労感や肩こり、頭痛といった慢性的な体調不良と睡眠の質の低下を引き起こす。歯を

失うことで噛む力が低下し、食事量の減少や栄養不足にもつながる。
また、細菌が血管に侵入して炎症を起こすことで、心筋梗塞・脳梗塞など発症し、糖尿病の悪化、妊娠中の早産や低体重児出産にも関連している。

さらに高齢者は誤嚥性

肺炎の要因となり、関節炎や糸球体腎炎の原因菌も口腔内に多く存在する。

問 受診率を向上させるための取り組みは。

保健センター所長 国民の約半数が歯周病の罹患率といわれ、町の検診でも5人中3人に確認されている。乳幼児健診や健康教室などで分かりやすい資料を用い周知を強化し、歯科での定期検査を促しながら予防対策を推進していく。

【転ばぬ先の杖は歯医者さんである】ガッテン！



ガッテン流！健康長寿の裏ワザ！教えます
(女と男ふれあいさかき2025 講演会より)

出土品の閲覧は

デジタルマップ閲覧可能

青木下遺跡



議員 清史 玉川

問 青木下遺跡の扱いは。

教育文化課長 発掘調査により多量の土器類等の遺物が円形状に出土した環状祭祀遺跡であり、30年近く経過後も国内で同様の遺跡は発見されておらず、古墳時代後期の祭祀を考える上で大変重要



文化財センターでの展示状況

である。

発掘調査の内容等は報告書にまとめられ、出土品は文化財センターで保管・展示。過去5年、年間で約100名から140名が見学している。

遺跡には、町道敷地内に標柱を設置、また令和6年度にデジタルマップを整備し、写真付き説明文と合わせ、出土品を文化財センターで展示している旨を表記し、スマホなどから簡単に情報や地図上の位置を確認できる。

問 文化財指定の考えは。

教育文化課長 現在は遺構が破壊されており、文化財指定は適当ではないと考える。

出土遺物については町で大切に保管し、遺跡周辺や出土品は適正に保護され、現時点において文化財指定に関する特段の措置をとる必要はないと考える。

青木下遺跡は、全国的にも珍しい環状祭祀遺跡であり、積極的にPRに取り組んでいく。

伝わる議会だよりを目指して

広報発行対策特別委員会



広報発行対策特別委員会は、8月28日(木)に東京のLINE CUBE SHIBUYAにおいて「令和7年度町村議会広報研修会」が開催され、全国から約900名が参加し、議会だよりの質向上につながる多くの学びを得た。

◆「インタビュー記事」を足して読まれる広報紙にしよう」では、おかむらな丘村奈央

子氏より、読まれる記事づくりの基本を学んだ。題材選び、取材目的の明確化、質問づくり、レイアウトの工夫など、インタビュー記事作成の流れが分かりやすく示され、人物の考えや魅力が紙面に躍動感を与える効果があることも紹介された。

◆「議会活性化と連動した広報紙づくり」では、福岡県大刀洗町議会の平山賢治けんじ委員長が講演。行政用語を避けた分かりやすい表現や、正確さとは「そのまま書く」のではなく「正しく要約すること」、写真とのバランスなど、広報紙編集の重要な視点が語られた。

今回の研修で得た知見を基に、坂城町議会では、より分かりやすく親しみやすい議会だよりづくりに努めていきたい。

(塚田つかだ舞まい)

官民連携から学ぶ駅周辺活性化の取組

坂城駅周辺活性化特別委員会



小諸市役所にて

坂城駅周辺活性化特別委員会は、10月15日(水)駅周辺活性化に向けた賑わい創出や地域交通の在り方を検討するため、小諸市が推進する「ウエルネスシティ信州小諸」の取り組みと、官民連携により地域課題解決に取り組む株式会社カクイチを視察した。

小諸市では、空き家を活用した交流拠点整備や中心市街地の回遊性向上、官民連携による魅力発信など、駅周辺の価値を高める施策が一体的に進められている。とくに、地域企業・株式会社カクイチが提供する三輪カー「egg」を活用した取り組みは、駅周辺から市街地への回遊促進に効果が高く、移動手段の工夫が地域消費の誘導の喚起につ



三輪カート

ながることを実感した。官民連携の在り方を学ぶため株式会社カクイチを訪問し、工場見学および事業説明を受けた。確かな技術力と柔軟な組織体制を背景に、太陽光発電や防災分野など地域の安心・安全を支える事業を展開し、行政と連携した地域価値向上の姿勢が印象的であった。

今回の視察を通じて、坂城駅周辺活性化においても、既存資源を活かした交流拠点づくりや回遊性を高める仕組みの導入、さらに官民連携により地域企業の技術・発想・実行力を活かすことが持続可能な駅周辺づくりに不可欠であると再確認した。

(塚田つかだ舞まい)

国道18号バイパス工事現地視察

地域交通網対策特別委員会



土と固化剤を攪拌（小網）

さらに、現在はICT（情報通信技術）を活用

網掛地区改良10工事現場（小網）では、土に固化剤を散布・混合し地盤改良を行っており、将来、交通荷重や地震・災害により地盤沈下を起さないよう、堅い路体をつくる事を目的としている。

ICT技術を活用した
施工方法
地域交通網対策特別委員会は、11月27日（木）に、国道18号坂城更埴バイパス現地事業説明会が開催され、工事現地を視察した。

した最新の施工方法を採用。油圧ショベル・ブルドーザーといった重機にGNSSを受信する機器を取り付け、設計データをもとに位置や高さを調整しながら作業を進めている。このことから、精度が高く、効率的で安全な工事が可能となる。

また、網掛地区改良9工事現場（月見区西）の主要な工事内容は、敷均し・転圧・法面整形にICTを活用し、路体盛土と路床盛土が完成していた。双方は、共に国土交通省が進めている三大施策に基づいており、改めて技術の高さと作業の効率化を実感した。

今後の視察等を踏まえて、定期的な進捗の状況を注視していく。

（宮入 健誠）



敷均し・転圧状況（月見区西）

長野県町村議会議長会自治功労者表彰を受賞

令和7年10月30日（木）、長野県町村議会議長会第41回定期総会において、2名の議員が一般表彰を受けました。

長年にわたり議会議員として地方自治の発展に尽力し、住民福祉の向上に貢献された功績が認められたものです。



左から

あさくらくにかつ 朝倉国勝議員、たきざわゆきてる 滝沢幸映議員

リーフレット「フリーレンたちと学ぶ地方議会」

三議長会（全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会）が、これからの地域を担うこどもたちに地方議会・議員の役割を周知するため、主権者教育用リーフレットを作成しました。

主権者教育特設サイト

<http://gikai.gichokai.gr.jp/>



©山田鐘人・アベツカサ／小学館

議 会 日 誌 (主な活動)

10月	1・9・16日 広報発行対策特別委員会	11月	11日 葛尾組合視察研修(～12日)
	1・15日 まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会		13日 長野県医療労働組合連合会陳情
	3日 さかきモノづくり展		14日 更埴地域シルバー人材センター要望来庁
	6日 千曲坂城消防組合議会定例会		18日 議会全員協議会/総務産業常任委員会
	8日 新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会中央要望		19日 長野広域連合議会運営委員会
11月	9日 千曲衛生施設組合議会定例会	12月	六ヶ郷用水組合議会議員視察研修(～20日)
	10日 社会文教常任委員会/町土地開発公社視察研修		21日 長野広域連合議会定例会
	14・21日 上田地域広域連合議会定例会		25日 定期事務監査報告/議会運営委員会/町総合計画審議会
	15日 坂城駅周辺活性化特別委員会視察		26日 国道18号バイパス・新複合施設中央要望/町例月現金出納検査
	16日 総務産業常任委員会		27日 地域交通網対策特別委員会(現地調査)
	16・17・20・21・22・23日 定期事務監査		町介護保険運営協議会
	17日 議会全員協議会/議会運営委員会		1～12日 12月議会定例会
	20日 六ヶ郷用水組合議会定例会		1日 社会文教常任委員会
	22日 道路整備促進期成同盟会長野県要望活動		4日 (公財)さかきテクノセンター運営委員会
	23日 千曲坂城消防組合管外施設視察(～24日)		9日 議会全員協議会/議会運営委員会
11月	27日 町例月現金出納検査		10日 総務産業常任委員会/社会文教常任委員会
	29日 葛尾組合議会定例会		議会運営委員会
	30日 長野県町村議会議長会定期総会		12日 議会運営委員会/議会全員協議会
11月	千曲衛生施設組合視察研修(～31日)		広報発行対策特別委員会/社会文教常任委員会
	7日 議会全員協議会		16日 町国民健康保険運営協議会
	10日 まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会		17・24・26日 広報発行対策特別委員会
11月	上田法人会坂城支部要望来庁		25日 町例月現金出納検査

表紙の写真



1月5日(月)文化センター体育館にて、今年59回目となる席書大会が開催され多くの小中学生が参加した。

書初めとは「新年に初めて毛筆で文字や絵を書く日本の伝統行事」であります。

昨今、デジタル機器の普及により「筆」を執る機会が少なくなっておりますが、このような行事をきっかけに手書き文字の温かさを感じてはいかがでしょうか。

(文：大日向 進也)



わがまち **さんぽ** 第2回

坂城町の身近な話題をお届けします。

＝「大望橋」開通への歩み＝

昭和37年(1962年)4月、中之条地区に統合中学校が完成すると、村上地区の中学生約200人は千曲川下流の昭和橋を経由し約4km以上も通うこととなった。

坂城町と村上村の合併条件の一つに、坂城町中之条と村上村網掛を結ぶ橋を新設することとなっていたため、昭和38年(1963年)に中学生の通学橋として県に占用申請を行い許可がされた。

大望橋は、昭和38年(1963年)12月28日に起工し、千曲川の川幅約500mのうち、本流の網掛よりの約100mに幅2.6mの橋が昭和39年(1964年)6月12日竣工した。河原の取り付け道路は、坂城中学校生徒約900人の勤労奉仕によって完成した。

橋の名付け親は、名誉町民の鈴木直三氏で、ウィリアム・クラーク博士の「少年よ大志を抱け」にあやかり、通学生徒が立派な社会人となるようにと祈りを込めて名付けられた。

昭和46年(1971年)、昭和57年(1982年)、平成3年(1991年)の災害により取り付け木造橋が流失し、その都度災害復旧工事により永久橋が1連ずつ延長され、中州に降りる形で復旧された。

平成10年度(1998年度)に、橋脚を1基施工し、大望橋の橋脚8基が全て完成し、平成11年度(1999年度)に、上部工2連を施工し、橋の上部工9連が全て完成した。

平成12年(2000年)3月、大望橋の36年間に及ぶ、千曲川に架かる約465mの橋の工事が全て竣工し、「大望橋」は全面開通した。

この橋が、子どもたちの未来へつながる橋となることを願う。
(星 哲夫)



発行責任者 議長 中嶋 登
広報発行対策特別委員会
委員長 大日向進也
副委員長 塚田 舞
委員 星 哲夫
中村 忠靖
宮入 健誠

冬の朝、白い息がふわりと空に溶けていきます。その淡いひとしずくが消えていく様子を眺めていると、忙しさに追われる日々の中でも、季節は静かに、けれど確かに歩みを進めているのだと感じます。

冷たい空気のなかでこそ、ふと差し込む陽だまりの温もりがありがたく、手にした温かな飲み物が胸の奥までほっと緩めてくれます。

こうした小さな心地よさは、普段は気づかず通り過ぎてしまうほどさやかなものですが、拾い集めてみると冬の日々が少しやわらかく見えてきます。

慌ただしい季節の中にも、深呼吸できる時間が少しずつ増えていけばいいなと思います。

「皆さまにとって、この冬が穏やかな日和となりますように。」
(塚田 舞)

